

球根の植え方の「チューリップ編」ポイント

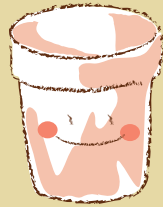
お花は4～5月に咲きます。

サカタのタネ

うえどき（横浜基準）

9月中旬～12月いっぱいなら間に合います
Bestは10月中旬～下旬

準備



ちょっと深めのプランター
横42～45cmなら
チューリップ15～20球

or

ちょっと深めの丸ばち
直径24～27cmなら
チューリップ10～15球根



マグアンプK
(50gくらい)

培養土

丸ばち（直径24～27cm）
… 5Lくらい
プランター（42～45cm）
… 10～15Lくらい

あと便利なもの



ラベル

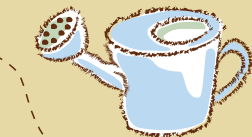
わりばし



鉢底ネット

鉢底石

鉢底石



じょうろ

土づくり

まず、球根を植える前に培養土を鉢の2/3くらいまで入れて、マグアンプKを加えて、土とよく混ぜておきましょう。



基本編

1 約1コ分の間が空いていればOK



まんべんなくならした土に、球根をならべます。

よい花を咲かせるために、鉢植えは特に、浅めに植えて、根つこのスペースを十分に取しましょう。



たっぷりお水

2



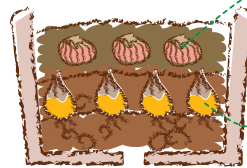
球根がしっかりかくれるくらいたっぷり土を入れます。



陽当たりのよい所に置いて土の表面が白っぽく乾いたら水やりをお忘れなく。

応用編

2段植え



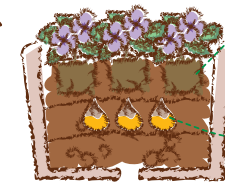
1段目
ムスカリやクロッカスなどの小球根やチューリップでもOK

2段目
チューリップ

2段にして植えると、スペースを有効に使えるので、ボリュームある鉢植えができます。組み合わせは無限大♪
深めの鉢を使って、3段植えも

Let's try!

草花苗コラボ



パンジー・ビオラなどの草花苗

チューリップ

チューリップの球根を真ん中に置いたり、前に置いたりして配置を工夫してみましょう。

草花苗と一緒に植えることによって水やりを忘れなくなるので一石二鳥

春になると



草花苗の下からチューリップ芽が出てきたら、球根の上に植えた草花苗を抜いて、別の鉢などで楽しみましょう。

草花苗を抜いた所に土を入れて、これで草花苗とチューリップのコラボができあがり♪
花壇でも

Let's try!

